

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	下水道普及促進事業		担当部署	経済建設部 下水道課		
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市補助金条例・鳴門市補助金施行規則・鳴門市下水道普及促進対策助成金交付要綱		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成	21年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なるど			終期	未定
(小項目)		0				
施策	3	生活排水対策の推進				
基本事業	2	公共下水道水洗化率の向上				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 供用開始後一定期間の浄化槽(またはくみ取り便所)利用者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	供用開始区域において浄化槽(またはくみ取り便所)を利用されている市民に、できるだけ早期に下水道に接続していただく。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		水洗化率(人口)	21.3	24.0	26.5	28.7	30.7	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	供用開始区域内にお住まいの市民に、普及推進員による戸別訪問等を通して、下水道の接続に係る助成制度の内容をご説明し、下水道への早期接続をお願いしている。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	下水道接続人口	959	1,183	1,428	1,640	1,862	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標		水洗化率(人口)	22.8	26.4	—	—	—	%
		目標達成率(実績/目標)		110.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	17,750	16,237	23,000	23,000	23,000	千円	
	財源内訳	国	9,840	8,118	11,500	11,500		11,500
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	7,910	8,119	11,500	11,500		11,500
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		6,517	6,517	6,517	6,517	6,517	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		24,267	22,754	29,517	29,517	29,517	千円	

【事務事業名：下水道普及促進事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	平成23年度までの助成制度の上乗せ措置として、平成24年度より複数の方が同時に申請した場合に助成金を増額する「グループ申請制度」を新たに創設した。今年度も普及推進員による「グループ申請制度」のPRを積極的に行い、下水道加入率の向上を図る。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	地道な周知啓発活動により、市民の水環境に関する意識向上や下水道事業に対する理解促進を図ることで水洗化率を向上させ、使用料収入を確保し、健全な経営を行うことが必要である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 生活排水対策の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業対象は適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後とも更なる普及促進に向けて、普及推進員をはじめ助成金制度(グループ申請制度)の周知を行いながら下水道事業に対する理解も図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				